

# 来週の「売り物記事」はこれ



2017年4月28日号

毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

## 皇位継承の安定へ 「戦い」は続く

30日(日)



天皇陛下が退位の意向をにじませた昨年8月のおことばから9カ月。退位を可能とする特例法案が大型連休明けの国会に提出されます。ただ、おことばを読めば、陛下の思いは「象徴天皇の務めが安定的に続くこと」にあることがわかります。現在の皇室典範は皇位継承者を男系男子に限定していますが、皇族の世代構成を考えれば、やがてそれが危うくなる



ことは明らかです。男性皇族が少なくなった今、皇位継承を安定させるカギとなるのが「女性宮家」の創設。創設を模索する人々と、「男系男子」派が根深く存在する自民党・安倍政権との長い「戦い」を迫ります。筆者は政治部の野口武則記者、平田崇浩編集委員です。

日曜朝は『S』で始まる——。ストーリーにご期待下さい。

## まるで「水戸黄門」の印籠？

### 「閣議決定」は万能なのか

夕刊特集ワイド 5月1日(月)



「(首相夫人の)安倍昭恵氏は私人」「森友学園への国有地払い下げで政治家からの不当な働きかけはなかった」「教育勅語の教材使用は否定しない」……国会で安倍内閣が閣議決定した答弁書に、批判の声が上がっています。事実かどうか、あるいは政策としてうなずけるかどうか、意見の分かれるテーマについて政府が「断定」することで、国会での議論が尻すぼみになりかねません。閣議決定とは、答弁書とは何なのか——。探ってみました。

## 親ありて ミッツ・マングローブさんの両親

くらしナビA面 5月3日(水)

歯に衣着せぬ直言で人気の女装家、ミッツ・マングローブさん(42)。父の徳光次郎さん(70)と母の由利子さん(69)に話を聞きました。英国に音楽留学したものの、なかなか芽が出ないミッツさんを支えたのは、次郎さんが信頼してくれたことでした。「家ではやっぱり長男」と語る次郎さんは、特異な人生を歩く息子とどのように向き合ったのでしょうか。



## 赤ちゃんハテナ箱 ベビーフード

くらしナビA面 5月5日(金)



毎日新聞サイト「生活のチカラ」の人気コーナーが紙面にも登場しました。妊娠期から3歳までの子育てをめぐる話題や疑問に答えます。今回のテーマは市販のベビーフード。おいしさや栄養バランスを工夫した商品も増えており、忙しい子育ての最中には助かります。それでは1日3食とも使ったらどうなるのでしょうか。メーカーや専門家に話を聞いてきました。



社会活動家として貧困問題に現場から取り組む作家の雨宮処凜さんは「貧困は社会と他者への信頼を根こそぎ奪い取ってしまいます」と警告します。一億総貧困時代といわれ、若者の孤立や生活保護の打ち切りなどが問題となる一方で、社会には自己責任論が渦巻いています。現場の悲惨な実情や今後の展望について、加藤登紀子さんと語り合いました。



## 憲法施行 70年 「護憲」「改憲」 9条を考える

オピニオン面[論点] 5月3日(水)



日本国憲法が3日、施行から70年を迎えます。この間の東アジアを含む国際情勢の変化を受け、戦争の放棄と戦力の不保持をうたった9条が依然、憲法改正論議の中心的な論点になっています。毎日新聞の山田孝男特別編集委員の司会で、憲法学の石川健治・東京大教授と国際政治学の中西寛・京都大教授に憲法9条を中心に70年を振り返ってもらいました。

## 憲法と家族 家庭への公権力の介入か否か

オピニオン面[論点] 5月5日(水)

日本国憲法の施行70年にあたり、改憲に前のめりな安倍政権のもとで、「憲法と家族の関係」が注目されています。憲法24条は家庭生活における個人の尊厳をうたっています。ですが、自民党が今国会への提出を目指している家庭教育支援法案では「国や自治体が家庭教育支援に責任を負う」となっていて、家庭への公権力の介入が懸念されているためです。



時代が見える——。オピニオン面にご期待ください。

次週の「来週の売り物記事」の発行はお休みします。